

# 新生児・小児疾患におけるスプライシングアイソフォーム解析による病態解明に関する研究

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<b>研究課題名</b>	新生児・小児疾患におけるスプライシングアイソフォーム解析による病態解明に関する研究
<b>倫理審査受付番号</b>	第倫ヒ0375号
<b>研究期間</b>	2018年1月倫理審査承認日～2023年3月31日
<b>研究対象情報の取得期間</b>	下記の期間に小児科を受診した、低出生体重児における気管支肺異形成症・未熟児網膜症などの合併症や、筋疾患、腎疾患などの新生児・小児疾患の方 1990年4月1日～2022年3月31日
<b>研究に用いる試料・情報</b>	試料等、カルテ情報
<b>研究概要</b>	(研究目的、意義) 新生児・小児疾患とVEGF（血管内皮細胞増殖因子）・ジストロフィンなどのアイソフォームの関係を明確化し、スプライシング制御により予防、治療を行うことを目的としています。

(研究の方法)

①気管支洗浄液、咽頭粘液、血液、尿、腎・筋生検などの試料を用いてVEGF・ジストロフィンなどのスプライシングアイソフォーム及び生成されたタンパク質の発現を、経時的に定量的解析を行い、発症児と非発症児及び重症度における発現量などを検討します。血液・腎組織などから抽出したRNAの一部は外部委託機関で定量的解析を行い、当施設で臨床経過と定量解析結果の比較検討を行います。

②対象疾患の進展に、促進的および抑制的に作用するスプライシングアイソフォームを明らかにします。

③スプライシングを制御し、病院の進展に促進的に作用するアイソフォームを抑制的に作用するアイソフォームに変換する治療法の検討を行います。

(外部への試料・情報の提供)

試料（上記サンプルより抽出したゲノム・RNA）・情報（患者診療情報）の一部は、匿名化した上で共同研究機関、業務委託機関へ提供され、遺伝子解析及び結果の検討が行われます。

(研究組織)

兵庫医科大学小児科

神戸大学大学院医学研究科小児科学

神戸学院大学総合リハビリテーション学部

(個人情報の取り扱い)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、解析処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

---

**本研究に関する  
連絡先**

兵庫医科大学病院 小児科

竹島 泰弘（研究責任者）

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL | (平日8:30分～17:00) 0798-45-6712 (NICU病棟)

0798-45-6700 (小児科病棟)

0798-45-6220 (小児科外来)

(上記時間以外) 0798-45-6111 (病院代表)

